桜島学園たより
さくらじま

第60号
2023年8月1日

社会福祉法人 愛光会
鹿児島市野尻町18－1
099-221-2344
1999年1月1日創刊

園訓
仲良く
正直に
元気よく

URL
http://www.aikohkai.com/publics/index/84/

E-mail
sakurajimagakuen@po5.synapse.ne.jp

施設長あいさつ

桜島学園　施設長　佐多　慶一

大暑の候、皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

今は夏休み。雄大な桜島を背に子どもたちの元気な声が響き渡っています。

さて私、このたび桜島学園の施設長に就任いたしました。そもそも私にとって福祉の原点は、この「桜島学園」であり、四十五年前に勤務、以降数個所の障害者福施設等を経て再び帰ってきたところです。ただ、この間の児童養護施設の著しい変化には聊か驚かされました。

入所している児童は、時代の変遷とともに抱える問題が変わり、その入所理由は複雑で重層的になっています。また、制度的にも国からは「新しい社会的養育ビジョン」が示され、里親やファミリーホームへの委託の推進が求められる一方、施設には、小規模化や高機能化、多機能化が求められています。これらのことを踏まえ、今後私たち職員は福祉施策の変化に迅速に対応しながら、先を見据えて進んでいかねばと思うところです。

さて、当施設は、現在桜島にある本園を拠点とし、ほかに鹿児島市街地に地域小規模児童養護施設を二カ所（男子用、女子用）設置しています。本園には、心のケアが必要な子どもが多く、特性を理解し寄り添いながら普通のご家庭同様の養育をしています。また、鹿児島市街地の地域小規模児童養護施設からは、それぞれの学校へ通い、ホームごとに何ら一般家庭と変わらない生活を送っています。ただ、このような暮らしの中で、職員の子供に対する気配りは並大抵のものではありません。それぞれ生活及び行動範囲が異なるため細かい情報なども職員間で共有する必要があります。そのためには、毎日その時々の情報をオンラインなど活用し取得することが欠かせません。

何はともあれ、施設の責務である「子どもたちに安全で有意義な生活を提供する」ためには、職員一人ひとりが人として成長しなければなりません。今後も職員一丸となり努力していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

HOME TOPICS～ホームトピックス～

ホームの楽しい様子を紹介します

椿ホーム活動

五月二十八日、初夏の陽気の下、椿ホームは志布志市のダグリ岬遊園地へ遊びに行きました。久しぶりの外出で、みんな汗びっしょりになりながらも、空中ブランコやゴーカート等、色々な乗り物を満喫しました。楽しい時間はあっという間に過ぎてしまい、帰るときには、みんな口々に「また来たいね。」と話していました。楽しい思い出が出来ました。

（新地）

おもしろいねー

ばらホーム活動

五月十四日にホーム外出で鹿児島市立科学館へ行ってきました。地震体験コーナーでは震度五弱までの揺れを体験しました。体験後の子どもたちは「まだ揺れている感覚がある」と話すなど地震についての学びを深めました。宇宙船着陸体験やロケットなど楽しいコーナーもあり、色々な経験をたくさんすることができて楽しかったです。

（川路）

楽しく過ごしました

あすなろホーム活動

六月十七日、ホーム活動でT-MAXへ行き、ボウリングにチャレンジしました。ボウリングが初体験のH君はうまく投げる事ができず、最初は三本ぐらいしか倒せませんでした。しかし、最後のゲームでは何とストライクやスペアをとることができました。H君は満面の笑みでぴょんぴょん跳ねて大喜びしていました。帰る頃には「もっとやりたい。」「また行きたい。」などの声が聞かれ、楽しいホーム活動となりました。

（後藤）

いけー

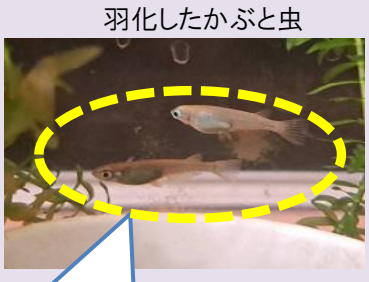
ストライク

かぶと虫・メダカの飼育（すみれホーム）

昨年姶良市の永迫様よりかぶと虫をいただき、子ども達と飼育を始めました。夏が過ぎる頃には死んでしまいましたが、土の中には小さな卵が二十個ほど産み付けられていました。十月には幼虫になり、今年の五月には七匹がさなぎに成長し、六月にはなんと羽化していました。また、指宿市の町田様からは昨年メダカをいただき、ホームの玄関で飼育しています。子どもたちは「卵を産んでいるよ。」「赤ちゃんが産まれたよ。」などメダカの様子が食卓の話題にのぼり、子ども達の楽しみになっています。小さな命を大切にして、これからも心を込めて育てていきます。

（小川）

羽化したかぶと虫



ちっちゃなメダカが
スイスイ泳いでいます！

地域消防分団との防災教室

五月十四日、地震・津波を想定した避難訓練を実施しました。その後桜塚分団と子ども達で図上訓練を行いました。通学路を中心に避難壕や子ども110番、急斜面、AEDの設置場所等、地図上に書き込みました。意外と知らない事があり子どもも職員も改めて確認する良い機会になりました。

（山之内）

みんなまじめに取り組みました。

小中学校の先生方との情報交換会

五月二十二日、小中学校の先生方と情報交換会を行いました。いつも子ども達がお世話になっている先生方へ学園に来て頂き、学園の説明を行いました。個性豊かな子ども達を一緒に支援して頂いている先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。これからもお互いに子ども達を支えていける様に連携を図って行きたいと思います。

（加藤）

いつもありがとう
ございます

春から、夏へ

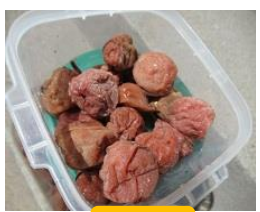
「五月四日、学園に帰ります。」

関東にいる卒園生から連絡があり、それに合わせて、ちまき作りをすることにしました。調理場では五月に入ると、竹の皮洗いから準備を始め、四日には窯に薪を焚べ、百本以上のちまきが出来あがりました。とろりとしたちまきに、きな粉や黒砂糖をまぶして、みんなお腹いっぱい食べました。卒園生も懐かしい味に喜んでくれました。

六月五日はかからの団子作りを行いました。昨年から白あんを練りこみ、さらに美味しい団子が出来ました。また学園の近くにかからの葉を発見し、「こんなところにあったけ?」と大はしゃぎの調理員。しかもきれい。今年の団子作りは力が入りました。

そして夏に向けて、今年も梅干し作りが始まりました。きれいな青梅が届き、へそ取りを終えたら、傷梅はなんと数個だけ。今年はらっきょう酢漬けに十キロ、梅干しに二十キロが出来ました。夏が楽しみです。また学園の梅干しは昔ながらのしょっぱい梅干しです。熱中症予防にも活躍しそうです。（山路）

ちまき


梅干し

かからの団子

おいしい～

スケッチクラブ　～子ども達の作品を紹介します～

今年は10人の子ども達がスケッチクラブに加入し、子どもとの話し合いにより鹿児島空港でスケッチ大会を行うことになりました。当日は雨模様でしたが、普段見ることのない飛行機や管制塔、荷物運搬車、レーダー等、見るもの全てに目を輝かせ、ダイナミックに絵を描いていました。子ども達の素晴らしい感性溢れる作品を紹介します。（東・窪）

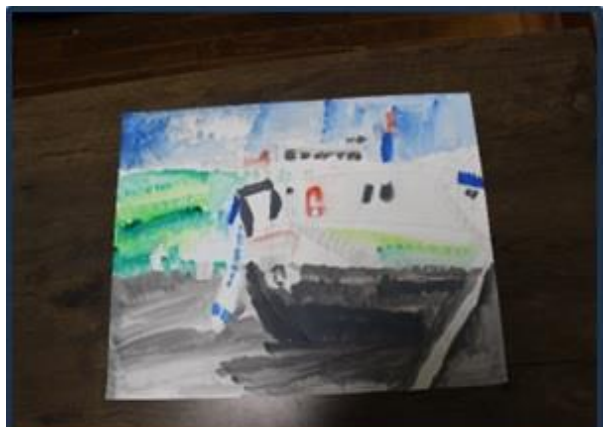
R・A さん 「いってらっしゃい飛行機」

M・I さん 「かっこいい空港」

H・Y さん 「旅立つまであと一秒」

H・T さん 「ひこうき」

R・I さん 「ひこうきとぶぞ」


S・T くん 「ゆめをのせる」

R・H さん 「ポケモンのひこうきとぶぞ」

M・A さん 「わたしのかわいいひこうき」

とても上手に描きました。

A・T くん 「ひこうき」

Y・Oさん 「ゆめをのせてとぶぞ」

〈編集後記〉

新型コロナウイルスに加え、インフルエンザが猛威を振るっています。また異常な暑さです。しかし学園ではこどもたちの元気な声が響き渡っています。熱中症に気を付けて、楽しい夏休みにしたいと思います。今後とも子ども達へのご支援と、当園へのご協力をよろしくお願いいたします。

お願い

桜島学園だよりを無断転載することは禁止しています。